

# 2024年度 実施効果報告レポート

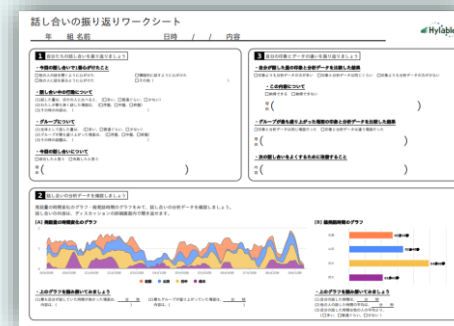
【事業者名】  
ハイラブル株式会社

【サービス名】  
① 対面の話し合い見える化  
Hylable Discussion  
② Web会議の見える化  
Hylable

【支援項目】①②共通  
授業  
部活動・クラブ活動・児童会・生徒会指導  
学校/学年/学級経営



Hylable Discussion 利用中の様子 (和歌山大学教育学部附属小学校)



2025年1月

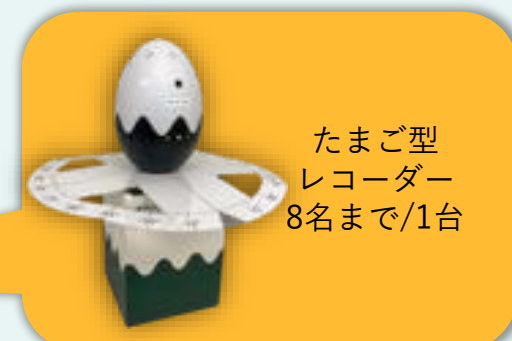
# ① 対面の話し合い見える化 Hylable Discussion (ハイラブルディスカッション)

たまご型レコーダーで録音した話し合いをリアルタイムで見える化するサービス

- 特長1 発話量・やり取りなどを自動でグラフやレポートに
- 特長2 個人・班・クラスのデータとその変化を蓄積



三好市立池田小学校



たまご型レコーダー  
8名まで/1台



戸田市立戸田第二小学校

担当者の顔が見えるサポート体制 ※働き方改革支援補助金2024向け

- ・先生向け使い方セミナー
- ・授業サポート ほか



担当：中村・山本

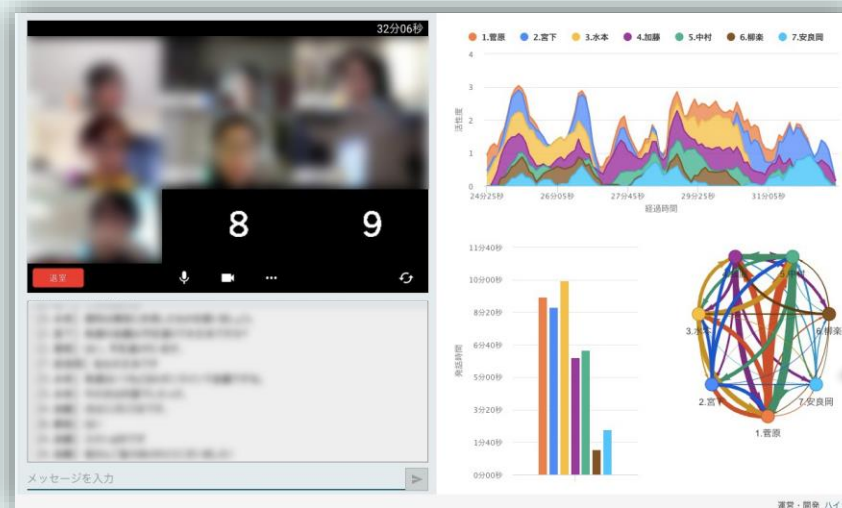
## ② Web会議の見える化 Hylable (ハイラブル)

専用Web会議システムでの話し合いをリアルタイムで見える化するサービス

- 特長1 話し合い画面上でグラフが更新されるのでその場で行動変容できる
- 特長2 すべてのルームの様子を外からグラフで一覧できる



小金井市立小金井第三小学校



第17回 (令和2年度)  
日本e-Learning大賞  
「厚生労働大臣賞」

対面の話し合い (Hylable Discussion) と同じデータが見える化!

担当者の顔が見えるサポート体制 ※働き方改革支援補助金2024向け



担当：中村・山本

- ・先生向け使い方セミナー
- ・授業サポート ほか

# 対面の話し合い見える化 Hylable Discussion

## 戸田市立戸田第二小学校

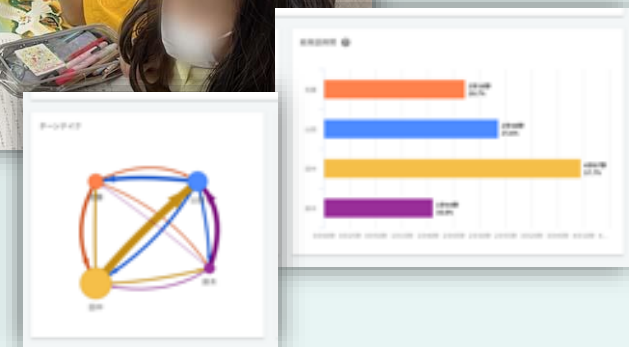
**課題** 先生がすべての班の話し合いを見て回り、時間を掛けて児童一人一人を支援することが難しい

**活用例** 児童自身が分析結果を振り返り、先生の支援に頼らず話し合いを改善

4年生 国語	先生 (1名)	児童 (約3~4人×8班)
話し合い前	あらかじめ座席設定しておく	<ul style="list-style-type: none"> <li>机を話し合いの形にする</li> <li>レコーダーを机へ持ってきて電源を入れる</li> <li>専用ウェブサイトにログイン、前回の分析結果を見て、今回の話し合いの目標を立てる</li> </ul>
話し合い開始	専用ウェブサイトにログイン、PCからレコーダー全台の録音開始	
自動でリアルタイム分析される		
話し合い中 [5分]		工芸品の説明文についての話し合い
話し合い後	レコーダー全台の録音停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>レコーダーの電源を切る</li> <li>今回の分析結果を振り返る</li> </ul>



戸田市立戸田第二小学校



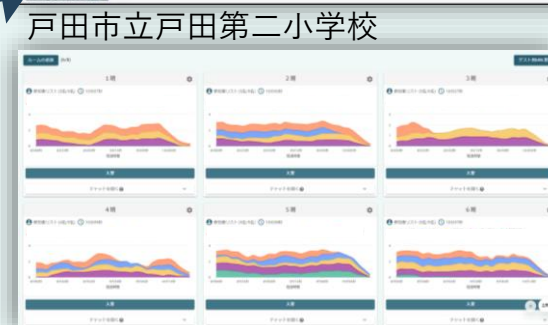
# Web会議の見える化 Hylable

## 戸田市立戸田第二小学校

**課題** 児童のコミュニケーション力・メタ認知力を育成する交流授業を先生一人で見取りたい

**活用例** 他県とのオンライン交流授業を一人の先生で見取って支援できた

6年生 国語	先生 (1名×2校)	児童 (2~3名×12班×2校)
話し合い前	Web会議ルーム入室用のURLを児童に配布	教室で1人1台のタブレットとヘッドセットを用意
話し合い開始	両校の先生で話し合い開始のタイミングを合わせる	URLをクリックして、自分の班のWeb会議ルームへ入室
自動でリアルタイム分析される		
話し合い中 [20分]		画面上でリアルタイム更新されるグラフを見ながら自己調整し、「おすすめパンフレット」紹介
話し合い後		<ul style="list-style-type: none"> <li>各自Web会議ルームを退室</li> <li>専用ウェブサイトログイン、最終的な分析結果を振り返り</li> </ul>



当日の班ごとのグラフ一覧

リアルタイムグラフは、話し合いの仕方を即時的に変えるのに効果的だった。  
(戸田市立戸田第二小学校 園田達郎先生)

## 学校等教育機関 7校

- 小金井市立小金井第三小学校 (東京都)
- 戸田市立笹目東小学校 (埼玉県)
- 戸田市立戸田第二小学校 (埼玉県)
- 三好市立池田小学校 (徳島県)
- 和歌山大学教育学部附属小学校 (和歌山県)
- 上越教育大学附属中学校 (新潟県)
- 福井県立武生高等学校 (福井県)

## 学校等設置者 6設置者

- 小金井市教育委員会 (東京都)
- 戸田市教育委員会 (埼玉県)
- 三好市教育委員会 (徳島県)
- 福井県教育委員会 (福井県)
- 国立大学法人上越教育大学 (新潟県)
- 国立大学法人和歌山大学 (和歌山県)

## 導入校総実績

- たまご型レコーダー数 : 67台
- Web会議ルーム数 : 140ルーム
- のベディスカッション : 930回
- 総録音時間 : 約140時間
- 学年 : 小学校1~6年生、中学校・高等学校1~3年生
- 科目 : 国語、社会、算数、理科、英語、体育、道徳、総合的な学習(探究)の時間、特別活動、学級活動、その他教員研修など

(2025/1/30 時点)



戸田市立戸田第二小学校



和歌山大学教育学部附属小学校

## 児童・生徒の活用成果

エビデンスに基づいた振り返りで、自分の行動を変え、先生に頼らず話し合いを改善する力の向上を実感した



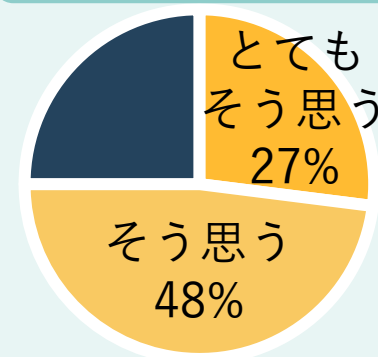
和歌山大学教育学部附属小学校



戸田市立戸田第二小学校

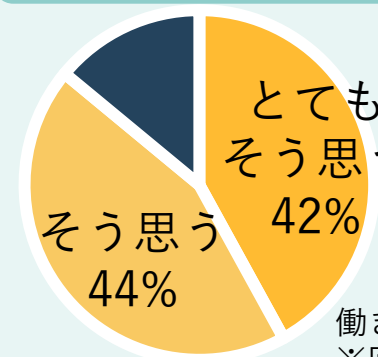
自分の話し合い中の反省点などを気付けるようになり、話し合いなどのスピードがスムーズになったと思います。  
(児童・生徒アンケートの自由回答より)

Q. 話し合いの中で自分の行動を変える力が  
高まったと思いますか



「そう思う」  
以上が**75%**

Q. 先生に頼らず話し合いを良くすることが  
できるようになったと思いますか



「そう思う」  
以上が**86%**

働き方改革支援補助金2024児童・生徒アンケート  
※回答者198名 (ハイラブル株式会社 2025年)

## 先生の活用成果

児童・生徒が話し合いを自己改善できるようになったことで、先生はさらなる個別最適な支援ができるようになった

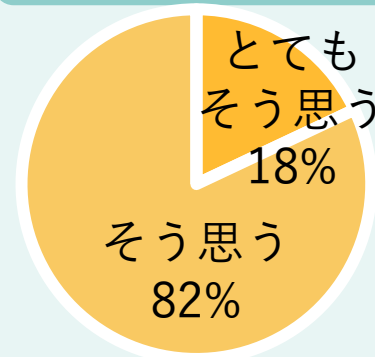


戸田市立戸田第二小学校



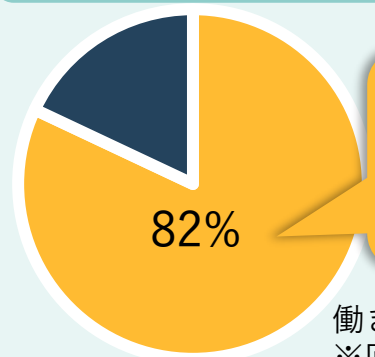
三好市立池田小学校

Q. 児童・生徒が自分たちで話し合いを改善できるようになったと思いますか



「そう思う」以上が**100%**

Q. 分析結果をどのように活用しましたか (複数選択可)



分析結果に基づき児童・生徒への声かけやアドバイスを行った

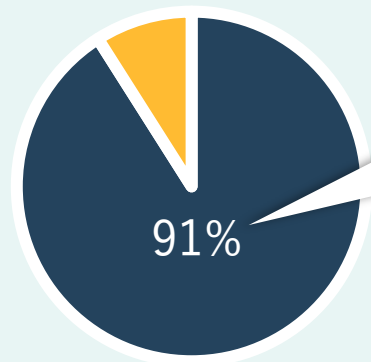
働き方改革支援補助金2024先生アンケート  
※回答者11名 (ハイラブル株式会社 2025年)

教科横断的に活用することで、どの教科においても話し合いの素地が養われていき、継続的に使用する良さを感じました。  
(戸田市立戸田第二小学校 石川涼先生)

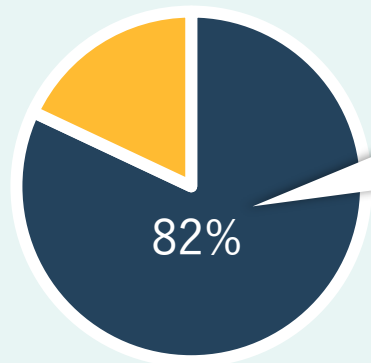


## 課題

メンバー登録や準備・片付けが簡単になってほしいと感じられた先生が多い



メンバー登録が簡単にできるようになってほしい



機器の準備や片付けが簡単にできるようになってほしい

## 改善策

メンバー登録機能を改善し、児童・生徒向け使い方動画を作成する

- CSVやExcelファイルから児童・生徒をメンバー登録したり、クラスごとにタグ付けしたりできるように機能改善する

- 児童・生徒向けの使い方動画などを作成することで、児童・生徒が主体となって準備・片付け・設定を行えるようにする

働き方改革支援補助金2024先生アンケート  
※回答者11名（ハイラブル株式会社 2025年）

## ハイラブルの話し合い見える化で可能になることは？

### 児童・生徒一次はどうすればいいか自分で分かる

話していることがグラフになったり文字になったりするのので、話している内容がよくわかって「これからこうすればいいんだ」ということがわかりやすくなりました。

働き方改革支援補助金2024児童・生徒アンケートの自由回答より



和歌山大学教育学部附属小学校



部附属小学校

和歌山大学教育学部附属小学校  
中山 和幸 先生

### 先生一子どもの得意なアウトプットを少ない労力で評価できる

低学年の思考・判断を書き言葉から評価するのは難しい。しかし、子どもたちは話し言葉でアウトプットすることは得意である。ハイラブルの話し合い見える化で、教師は少ない労力で子どもたちの思考・判断を評価することが可能になる。

## 社名の由来

カエルのように上手に雑音の中から  
目的の音を聞き分ける技術を実現する

接尾辞「可能」



ニホンアマガエルの学名  
*Hyla japonica*

## お問い合わせ

- お問い合わせフォーム
- お問い合わせメールアドレス
- メールマガジン「ハイラブルレター」登録

## 会社概要

会社名	ハイラブル株式会社 (Hylable Inc.)
経営陣	代表取締役 水本武志 博士 (情報学) 取締役 菅原哲也 修士 (工学) 取締役 中村祐希 修士 (文学)
設立	2016年11月21日
事業内容	メディア信号処理やコミュニケーションに関する商品やサービスの企画・製品・運用・販売・情報提供・コンサルティング等
本店	〒170-0005 東京都豊島区南大塚二丁目26番12号 鈴音ビル2階203号室
資本金	4,600万円 (資本準備金含む)
顧問	弁護士法人 内田・鮫島法律事務所 税理士法人 市川会計 社会保険労務士法人 ウィルワークス
従業員数	15人

[https://www.hylable.com/contact/  
contact@hylable.com](https://www.hylable.com/contact/contact@hylable.com)

[https://www.hylable.com/signup\\_email/](https://www.hylable.com/signup_email/)